

Title	島崎隆夫名誉教授著作目録
Sub Title	A bibliography of the writings of Prof. Takao Shimazaki
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1982
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.75, No.3 (1982. 6) ,p.494(266)- 495(267)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	島崎隆夫教授退任記念特集号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19820601-0266

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

島崎隆夫名誉教授著作目録

編・著書

『近世日本経済思想文選』 敬文堂 昭和46年9月5日

『佐藤信淵 天柱記, 混同秘策, 垂統秘録, 経済要略』(「日本思想大系」『安藤昌益, 佐藤信淵』に所収)
岩波書店 昭和52年12月23日

学術論文

〔第一〕

アダム・スミスの地代論の一考察 『三田学会雑誌』41巻3号 昭和23年3月

アダム・スミス研究の展開—スミス理解とマルクス— 『三田学会雑誌』42巻2号 昭和24年2月

古典への回帰・「国富論」刊行二百年に寄せて 『塾』14巻5号 昭和51年10月

〔第二〕

農業技術論概説 金原賢之助編「経済学研究五講」 昭和24年6月

戦後における地主制の変貌 『三田学会雑誌』43巻6号 昭和25年6月

「米騒動」『農地改革顛末概要』 昭和26年9月

「小作争議」『農地改革顛末概要』 昭和26年9月

改革後の自作農の性格 『三田学会雑誌』45巻9号 昭和27年9月

日本農業問題 『三田学会雑誌』42巻5・6号 昭和24年6月

〔第三〕

樋籠村とその周辺の治水問題—庄内古川を中心として—(「関東農村の史的研究」第一集) 『三田学会雑誌』
44巻2号 昭和26年2月

武蔵国児玉郡傍示堂村一名主内野家の経営を中心として—(「関東農村の史的研究」第二集) 『三田学会雑誌』
46巻2号 昭和28年2月

利根川筋河岸場紛争—本庄宿外港としての一本木河岸および山王堂河岸—(「関東農村の史的研究」第三集)
『三田学会雑誌』47巻3号 昭和29年3月

村落聯合—組合村について—武蔵国足立郡染谷村—(「関東農村の史的研究」第三集) 『三田学会雑誌』47巻
3号 昭和29年3月

学界展望・封建社会後期—農業生産構造の地域性を中心として—『社会経済史学』特集「戦後における社会経
済史学の発達」所収 昭和30年7月

新しい時代・新しい学問—「経済史学」『三田評論』645号 昭和41年1月

専門課程への指針・「経済史」『三色旗』254号 昭和44年5月

文献解題・「経済史に関する辞典」『三色旗』283号 昭和46年10月

〔第四〕

商人意識の一考察—関東—在郷商人(武蔵国児玉郡本庄宿戸谷家)の家訓を中心として—(「関東農村の史的研
究」第四集) 『三田学会雑誌』48巻2号 昭和30年2月

関東地方—農村に成立をみた農書—田村吉茂著「農業自得」を中心として—(「関東農村の史的的研究」第五集)
『三田学会雑誌』49巻2号 昭和31年2月

- 幕末における土地開拓—佐藤信淵の内洋経緯の雄図を中心として—「野村博士還暦記念論文集—封建制と資本制」所収 昭和31年3月
- 近世後期における農書と物価(「関東農村の史的 연구」第五集)『三田学会雑誌』50巻3号 昭和32年3月
- 老農形成の基盤についての若干の考察 『三田学会雑誌』50巻6号 昭和32年6月
- 本多利明の農政論—その前提— 『三田学会雑誌』51巻5号 昭和33年5月
- (続) 本多利明の農政論—その経済政策の性格— 『三田学会雑誌』51巻10号 昭和33年10月
- 日本経済思想の研究史—徳川時代経済思想を中心として— 慶應義塾創立百年記念, 慶應義塾大学(経済学部) 経済学会編「日本における経済学の百年」上巻に所収 昭和34年7月
- 近世農政思想の一考察—藤田函谷の場合— 『三田学会雑誌』52巻5号 昭和34年5月
- (続) 近世農政思想の一考察—函谷を継承した人々— 『三田学会雑誌』52巻11号 昭和34年11月
- 野村兼太郎博士追悼—日本経済思想史研究を回顧して— 『三田学会雑誌』53巻 10.11号 昭和35年11月
- 近世経世論の成立と儒学 『三色旗』 144号 昭和35年3月
- 近世経世済民論の一考察—水戸学派富国論を中心として— 『社会経済史学』 昭和36年2月
- 江戸時代経世済民論の一考察—林子平の「富国策」を中心として— 『三田学会雑誌』54巻6号 昭和36年6月
- 近世経世済民論の生成について—清良記=親民鑑月集・本佐録・治国家根元を中心として— 『三田学会雑誌』56巻9号 昭和38年9月
- 徳川時代「経済」思想史研究の回顧 社会経済史学会創刊三〇年記念特集号「最近十年間における社会経済史学の発達」に所収 『社会経済史学』 昭和40年3月
- 近世前期における「経世済民」論の展開—山鹿素行の場合— 『三田学会雑誌』58巻6号 昭和40年6月
- 徳川幕藩体制下の寺檀関係 『あそか』 昭和41年2月
- 近世前期「経世済民」論の一考察—蕃山の所論を中心として— 『社会経済史学』 昭和41年8月
- (英文) Introduction to the Economic Thought of Japan “KEIO ECONOMIC STUDIES” vol. 5. 昭和43年
- 明治初期「経済学」の一考察—若山儀一の場合— 小松芳喬教授還暦記念論文集「近代化と工業化」に所収 昭和43年5月
- 元禄—享保期町人倫理の考察—西鶴以降の浮世草子を中心として— 小池基之教授退職記念号『三田学会雑誌』67巻6号 昭和49年6月
- 文献解題(塾生書架)「近世日本経済思想史」『三色旗』336号 昭和51年3月
- 近世開物思想の一考察 遊部久蔵教授追悼特集『三田学会雑誌』71巻5号 昭和53年10月
- 近世思想家の理想社会・国家像 『三田評論』823号 昭和57年3月

(注) 本目録においては、書評・評論・随筆に類する著作は掲載していない。